



子育てにもっと安心を

弁護士 参議院 東京選挙区 予定候補

山添 拓

やまぞえ たく

3つの提案

日本共産党

提案
1

子どもたちの現在と未来にもっと予算を



認可保育所を緊急に増やす

「子どもが育つ環境」という視点で認可保育所を緊急に30万人分(3000カ所)つくります。

児童手当を大幅に増やす

現在月5000円から15000円の児童手当を第一子から大幅に増やし、所得制限も緩和します。ひとり親の家庭に支給される児童扶養手当を手厚くします。

義務教育での費用負担を減らす

中小学校の給食を無料に。就学援助を増やして、制服代や学用品代、修学旅行費などの負担を軽くします。

大学の学費を半額に

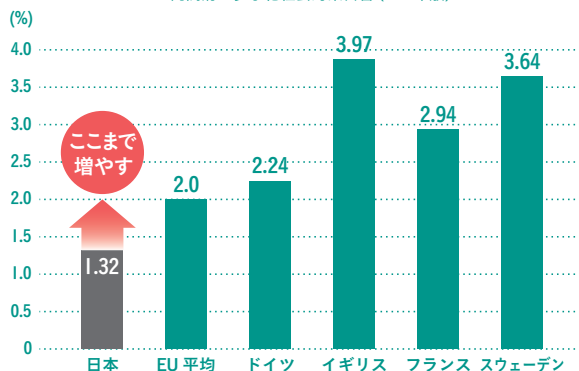
大学の学費を今後10年で半減させます。返済しなくてよい給付制の奨学金をまず70万人分(月3万円ずつ)創設します。

日本の子育て支援は国際的にみたら最低レベル

まずはEU平均規模まで増やす

子育ては、とにかくいろんなことにお金がかかりすぎる。お金の心配なく子育てできるように、政治が応援します。

各国の家族関係社会支出の対GDP比の比較
内閣府：少子化社会対策白書(H27年版)

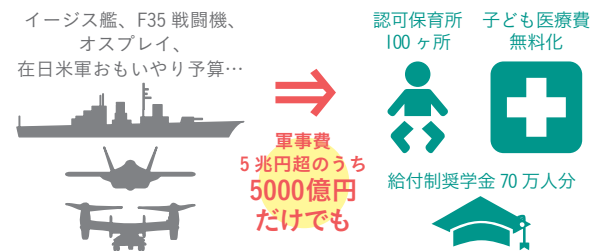


公正なルールで財源をつくる

増税は大企業、富裕層から消費税増税には頼らない

トヨタには年間5500億円の減税が行なわれ、ユニクロ社長、ドンキホーテの最高顧問はタックスヘイブンで税金逃れをしていたことが発覚しました。大企業や富裕層がちゃんと税金を払えば、消費税10%への増税は必要ありません。

税金の使い道を変える



安倍政権は軍事費を4年連続で増やし、今年初めて5兆円を超えました。その10分の1をまわすだけでも、上記のような子育て支援がすぐできます。

YAMAZOE COLUMN
日本共産党
山添 拓



どんな環境で生まれた子どもにも、すくすく育つ権利がある

学び、成長することはすべての子どもに保障された権利です。それを保障する責任はどこにあるでしょうか。法律では、国や自治体に子どもを「心身ともに健やかに育成する責任」が定められています(児童福祉法第2条)。そのためには、財政的な支援の底上げが不可欠です。



山添 拓 やまぞえ たく

弁護士・参議院東京選挙区予定候補

1984年京都府生まれ。東京大学法学部卒、早稲田大学大学院法務研究科修了。
2011年に弁護士登録。アメックス、日本郵政、ニコンなどを相手に、働く女性の権利を侵害する事件、過労死などの労働事件等に関わってきました。この経験を、国会でいかします。

公式ウェブサイト

www.yamazoetaku.com



@pioneertaku84



山添拓ページ



やまぞえたく
チャンネル

日本共産党

ってどんな党？

市民との共同で政治を動かし、東京では18歳までの医療費無料化が実現するなど子育てしやすい社会づくりに努めてきました。目指すのは「国民が主人公」の社会。企業献金は受け取りません。他の野党と連携して、安倍政権に変わる「人にやさしい」政治を実現します。



2016年6月号外
日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社(港区芝1-4-9 平和会館5階)
1965年11月12日第三種郵便入

山添拓事務所

〒113-0033
東京都文京区本郷3-2-3 齊藤ビル1階
TEL: 03-5840-5801
MAIL: info@yamazoetaku.com

提案

2

家族との時間を大切にできる働き方を

働くルールをつくり、守らせます。



最低賃金 時給1500円をめざす

まずは時給1000円に！中小企業でもできるように支援策を強化します。

残業を月45時間以内に規制 長時間労働をなくす

サービス残業が発覚したら2倍の残業代を支払わせます。

正規と非正規の 「待遇格差」をなくす

同一労働同一賃金、非正規でも育休取得などを実現します。

パワハラ、 マタハラをなくす

悪質な企業名を公表し、ブラック企業を“見える化”します。

『働くルール』が社会も企業も成長させる

左のような「ルール」には経済効果があり、さらにはイノベーションも喚起します。80年代には、東京都の排ガス規制条例をきっかけに燃費のいい車が作られるようになり、日本の自動車産業が世界のトップに躍り出た経験も。「ルール」づくりは、持続可能な社会につながります。

	“ルール”の経済効果	
	GDP	税収
サービス残業の根絶	+5.5兆円	+0.94兆円
年休完全取得	+3.0兆円	+0.51兆円
希望する非正規の正規化	+4.5兆円	+0.77兆円
最低賃金を時給1000円に	+2.1兆円	+0.35兆円

計算：労働総研 2016

さらに詳しい政策は



ブラックな働き方 を変える4つの改革提言



QRコードから
ダウンロード
できます！



提案

3

みんなが子育てを応援する社会に

各地ですすむ子ども食堂、無料塾、居場所づくり。
「子どもの貧困」が大きな社会問題となっているとき、
行政も民間と連携して、子どもを支えるネットワークを
ひろげ、社会全体で子育てを支援することが必要です。

子どもを支援する
団体への助成を増やす

なんでも相談できる
「子どもホットライン」開設

児童相談所の職員や
スクールカウンセラーなどの専門家を増やす

YAMAZOE
COLUMN
日本共産党
山添拓



政治は変えられる 一緒に新しい未来を

今年3月「保育園落ちたの私だ」と国会前に集まったママパパの声が、政治を動かしています。その後、野党4党は「保育士の賃金引き上げ」法案や「児童扶養手当増額」法案を国会へ共同提案。政府も不十分ながら検討を始めました。子育て政策が大きな政治の争点になっています。ご紹介してきた山添拓の提案を、ぜひ一緒に実現させてください。